

青梅市における 包括民間委託の導入

東京都 青梅市 都市整備部
下水管理課

青梅市の位置



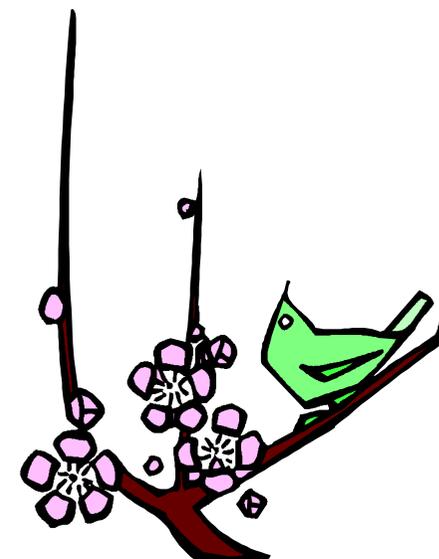
青梅市の概要

位置 東京都多摩西部
都心から西へ約50Km

人口 139,410人
(平成24年4月1日現在)

面積 103.26Km²

市制施行 昭和26年4月1日



青梅市の風景



市東部上空からの市街地

下水道事業の概要

(1) 経過

- | | |
|----------|---|
| 昭和47年10月 | 青梅市公共下水道の都市計画決定
多摩川上流流域下水道関連
(分流式 汚水・雨水2,075ha) |
| 昭和48年 2月 | 公共下水道の事業認可 |
| 昭和53年 5月 | 供用開始(353.4ha) |
| 平成17年 6月 | 都市計画変更(第11回変更)
(汚水2,459ha、雨水2,119ha) |
| 平成23年12月 | 第14回事業計画変更
(汚水2,313ha、雨水540ha) |

(2) 下水処理

終末処理場・・・東京都流域下水道
多摩川上流水再生センター
(東京都下水道局)

◆ 管路施設の現況

◆ 污水施設

種 別	数 量	単 位
管 路	555	Km
人 孔	22, 562	箇所
取付け管、柵	36, 573	箇所
伏越し管	8	箇所
中継ポンプ場	21	箇所
小型ポンプ施設	59	箇所

◆ 雨水施設

種 別	数 量	単 位
管 路	78	Km
人 孔	1, 650	箇所

維持管理業務委託の経緯

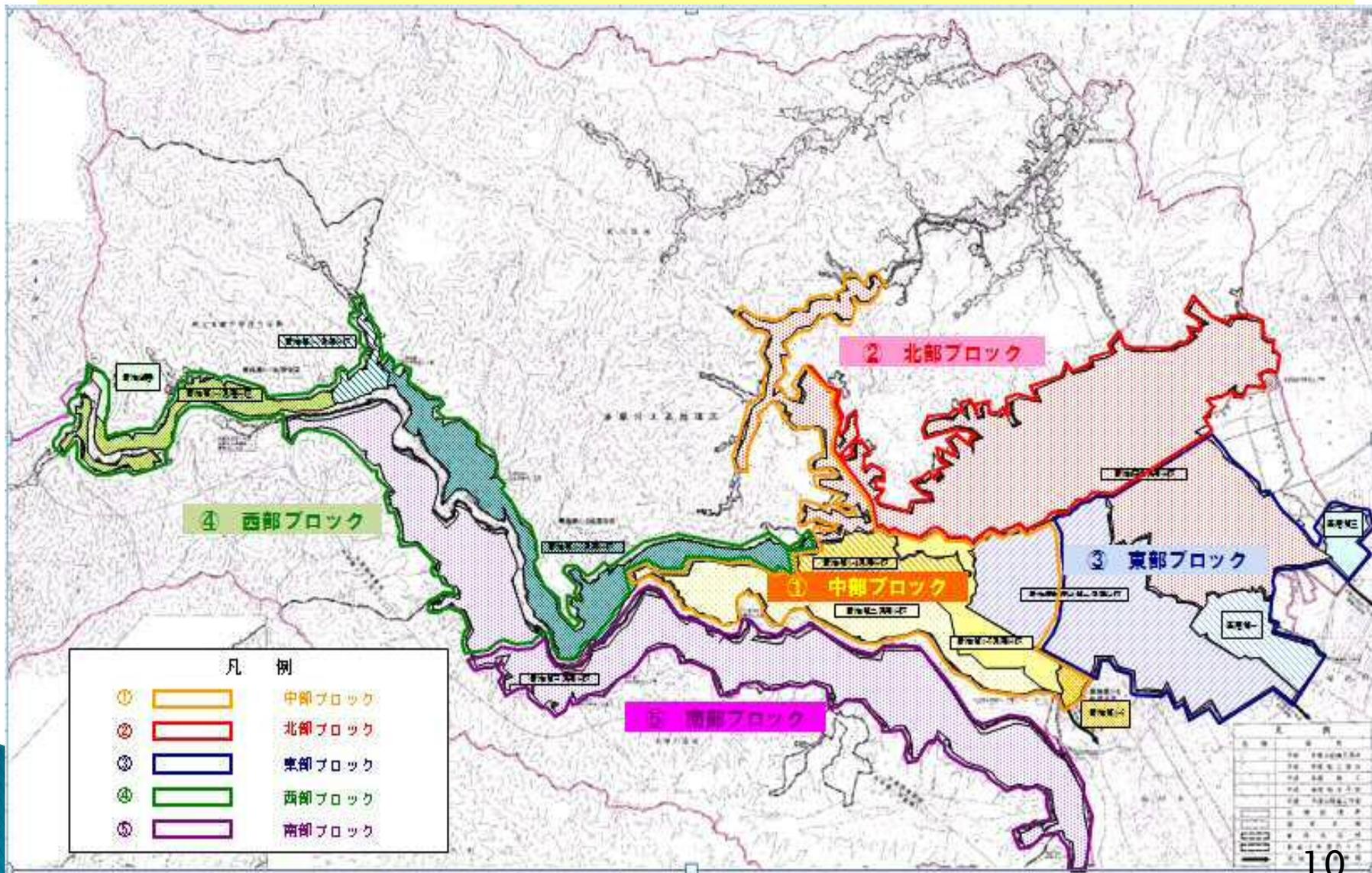
- 1 昭和63年度 浸入水原因調査委託
- 2 平成元年～平成5年度
下水道管きよ調査委託
(目視、TVカメラ調査により施設状況を把握し、不良個所対策や維持管理資料を作成)
- 3 平成6年度～平成22年度
管きよ維持管理業務委託
(市内全域の施設管理および計画的な目視、TVカメラ調査を実施、軽微な施設修繕を実施)
- 4 平成23年度～平成25年度
管きよ維持管理業務委託(3カ年契約)

包括民間委託特徴と効果

- ① 市内全域のマンホール約22,500か所
最低5年に一度は目視調査
- ② 重要路線
1年に一度巡視点検
- ③ 緊急時の即応体制が図れる



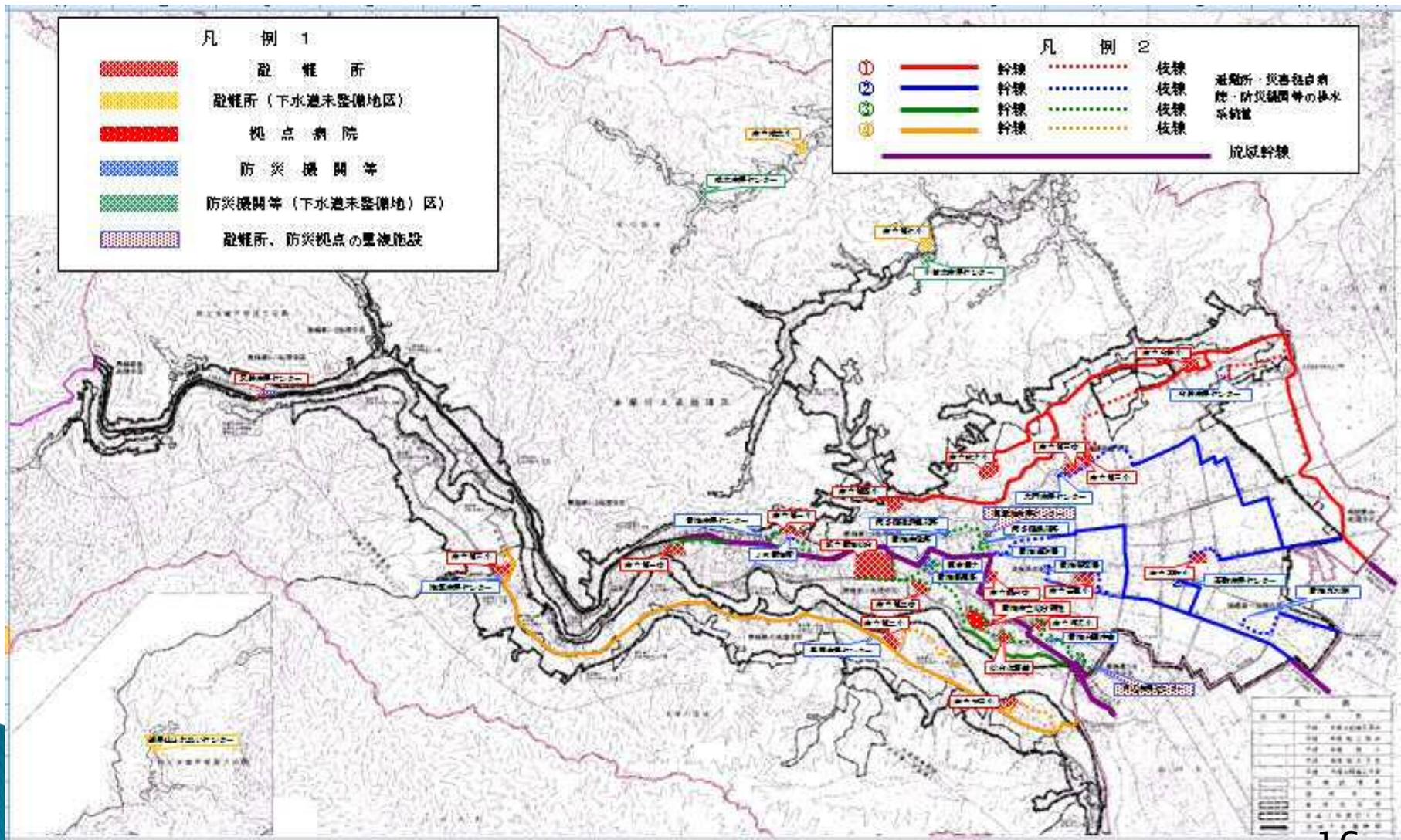
① 定期的な調査点検



効果

- ① 道路陥没が起きていない
- ② 管の閉塞が無い
- ③ 点検データの蓄積により、
業務の効率化を実現

② 避難所等の排水系統調査



- ① **公共柵から幹線までの系統調査**
- ② **災害時の避難所/拠点病院等**
37か所を4分割
⇒4年に一度調査
- ③ **取付管のカメラ調査を実施**

効果

① 公共柵の位置を特定

② 有事の際も排水が滞らない

③ 実際の施設と地図上が
完全に一致

⇒ 有事の際の応援部隊への
適切かつ迅速な指示が可能に

20年の包括民間委託の効果

- ① 施設／設備の経年変化を把握
することにより、予防保全が可能
- ② 補修履歴のデータ化により、
設計の重複を回避
- ③ 施設の検索／絞り込みを瞬時に
できるようになり作業が効率的に

過去の調査・修繕履歴の整理・分類

下水道台帳システムの整備
履歴情報入力

台帳システムの活用
弱点箇所抽出・分析

分類

布設から30年が経過した管
過去に異常を発見した管
主要幹線道路に敷設した管
緊急輸送路に敷設した管
避難所から流下する管
地下水位の高い地域の管
腐食しやすい環境下にある管

維持管理計画・修繕計画の策定

劣化予測および管渠の重要度に応じた点検・調査計画
早期発見、計画的な修繕等によりライフサイクルコストの低減化、延命化